

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(おおいたちゅうぶ) 大分中部森林計画区 (大分県)	事業実施主体	九州森林管理局 大分森林管理署
事業の概要・目的	<p>本計画区は大分県南部に位置し、^{おおいたし}大分市、^{うすきし}臼杵市、^{たけたし}竹田市、^{ぶんご}豊後大野市、^{ゆふし}由布市の5市に所在する15,520haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林6,023ha、天然林8,374haとなっており、主な樹種は針葉樹ではスギ、ヒノキ、広葉樹はブナ、ナラ、カエデ等となっている。</p> <p>本計画区は、^{くじゅう}くじゅう連山、^{ゆふだけ}由布岳、^{そぼかたむき}祖母傾山系等の優れた森林景観に恵まれていることから、^{あそ}阿蘇くじゅう国立公園及び^{そぼかたむき}祖母傾国定公園に指定され、^{ゆふつるみだけ}由布岳については^{ゆふつるみだけ}由布鶴見岳自然休養林を設定し、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>さらに^{そぼさん}祖母山から^{かたむきやま}傾山に至る梁線部周辺は、特別天然記念物のニホンカモシカが生息し^{くらきさん}原生的な天然林が存在していることから森林生態系保護地域に^{いしかしやま}設定し、^{くらきさん}倉木山の北側斜面に分布するアカガシ等を主とする^{おお}天然群集を^{くろだけ}大石榎山アカガシ等希少^{くろだけ}個体群保護林、及び、^{くじゅう}くじゅう連山の^{くろだけ}黒岳の天然林は^{くろだけ}黒岳ミズメ等希少^{くろだけ}個体群保護林に設定している。</p> <p>また、本計画区の92%が保安林等の制限林であり、その内88%が水源かん養保安林に指定され、下流域の水がめや山地災害防止のための森林としての重要な役割を担っている。</p> <p>このため本事業においては、林産物の継続的かつ計画的な供給や地域振興への寄与はもとより、国土及び自然環境の保全、生物多様性の保全等にも配慮しつつ、森林吸収源対策としての着実な間伐等の実施、主伐後の再造林や路網整備等による森林の適切な整備・保全に取り組み、多様で健全な森林づくりを進めることとしている。</p> <p>具体には、令和4年度～令和8年度の5年間で人工林を主体とした育成林123ha(育成単層林36ha、育成複層林87ha)の更新、保育2,403ha(下刈375ha、つる切103ha、除伐110ha、保育間伐1,815ha)を実施するとともに、木材生産を26万³m³(主伐8万³m³、間伐18万³m³)、低コストな林業専用道の開設を3.8km、既設林道の機能向上のための改良を9.5km計画している。</p> <p>なお、事業の実施に当たっては、これまでの事業評価結果を踏まえ効率的かつ効果的な実施に努め、国土の保全、自然環境の維持に配慮しつつ、森林整備の低コスト化に向けた取組として、高性能林業機械を活用した列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな伐採造林一貫作業システムの定着、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着を図ることとする。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 主な事業内容 	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備 路網整備 	<ul style="list-style-type: none"> 更新面積 123 ha 保育面積 2,403 ha 開設延長 3.8 km 改良延長 9.5 km
	<ul style="list-style-type: none"> 総事業費 2,664,850千円(税抜き2,422,591千円) 		
費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> 総便益(B) 総費用(C) 分析結果(B/C) 	<ul style="list-style-type: none"> 12,143,692(千円) 4,673,663(千円) 2.60 	

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。</p>
<p>評価結果</p>	<p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性等が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性：森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。 また、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所の整備を優先すること、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト縮減を図ることとしている。 これらについては、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれる。 また、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業・路網整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：大分県

施行箇所：大分中部森林計画区

(単位：千円)

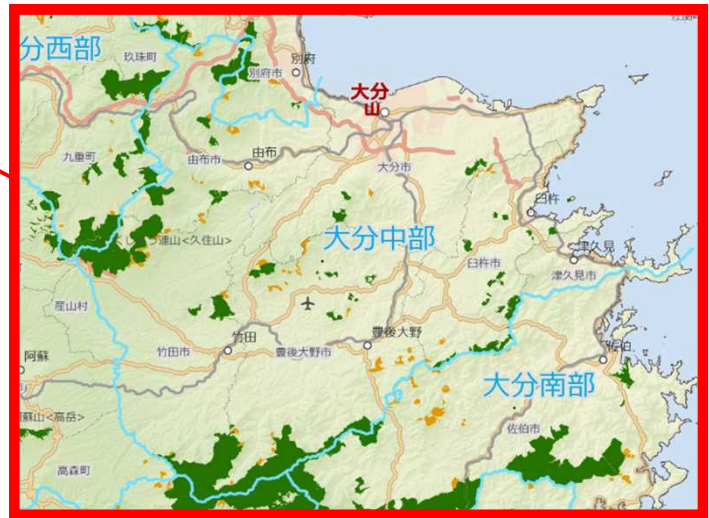
大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,064,791	
	流域貯水便益	816,496	
	水質浄化便益	3,323,959	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,088,976	
環境保全便益	炭素固定便益	525,778	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	212,267	
	木材利用増進便益	158,262	
	木材生産確保・増進便益	632,929	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,320,234	
総 便 益 (B)		12,143,692	
総 費 用 (C)		4,673,663	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,143,692}{4,673,663} = 2.60$		

令和3年度 林野公共事業評価

「令和4年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図

大分中部森林計画区

(大分森林管理署管内)



森林整備(間伐) 集材作業



森林整備(除伐) 除伐(空撮)



保育間伐遠景(空撮)



除伐近景



森林整備事業の概要

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、間伐等を推進するとともに、複層林化や長伐期化等を通じて多様で健全な森林の整備を実施する。
また、これらの取組を効率的に進めるため、林道等の路網整備も進めている。



複層林化...

木材を収穫するとともに、多様な成長段階にある森林を配置し、公益的機能の維持・向上を図る

森林資源の循環利用



(植付け)



間伐...

植栽木がさらに成長していくと、植栽木同士がそれぞれの生育を阻害するようになるため上層木を間引き、残存木の成長を促進させ、間引いた材は搬出し、利用する



(下刈り)



(除伐)

造林...

次世代の森林を造成

植付けは、伐採跡地などに新たに森林を作るために、苗木の植付けの作業を行う。植付けを行う前に、必要に応じて伐採した後の枝葉やササ等の整理を行う

下刈りは、苗木を植付けた後の数年間は、周りの雑草木の成長が盛んで、植付けた木（植栽木）への日当たりが悪くなり成長が阻害されたり、つるが巻き付き植栽木の幹を締め付けてしまうこともあるため、これらの障害を防ぐ守るために、雑草木を刈り払う作業を行う

除伐は、数年すると、植栽木以外の木が大きくなって、植栽木の生育を阻害することがあります。このような木を伐るとともに、植栽木の中で曲がったり、成長が悪い木を伐る作業を行う

路網整備...

路網は、施業を効率的に行うためのネットワークであり、林業の最も重要な生産基盤であり、労働条件や生活環境の向上にも役立っている

そのため、林道や丈夫で簡易な森林作業道等による路網整備を推進している

